

【案件概要】

パリサ県キバレ中学校における教室棟建設計画

1. 計画の概要

被供与団体	キバレ中学校
供与額	85,314米ドル
署名者	ジェームス・アングバ（校長）
計画名	パリサ県キバレ中学校における教室棟建設計画
実施地	パリサ県（ウガンダ東部）
供与内容	教室棟2棟（各195㎡、各3室、各60人収容）、女子トイレ棟2棟（各4基及び手洗い場2ヶ所）、家具
贈与契約署名日	2016年3月3日

当国東部でケニアに近接するパリサ県キバレ準郡に所在するキバレ中学校は、1994年に設立された公立学校です。現在、同校には教員が18人（常勤講師10人、非常勤講師8人）所属し、生徒604人（女子248人、男子356人）が在籍しています。都市部からの人口流入による生徒数増加（5年前の2.6倍）に伴い、同校は慢性的な教室不足となっています。現在、1教室を150人の生徒が使用しており、教師が机の間を移動するのが困難なほどであり、劣悪な教育環境にあります。また、女子トイレ2基を248人の女子生徒が使用しているため、トイレの混雑が生じ、授業を長時間退席することを余儀なくされており、女子教育促進の大きな障壁となっています。こうした劣悪な環境により、同校は学業不振の慢性化及び中途退学者増加の問題を抱えています。本計画では、教室棟2棟及び女子トイレ棟2棟を建設し必要な家具を整備することで、全生徒604人の学習・衛生環境が大幅に改善されると共に、同校の女子教育が促進されます。

2. 贈与契約署名式

2016年3月3日、在ウガンダ日本国大使館において、藤田順三大使とジェームス・アングバ校長の間で贈与契約が署名されました。

プレスリリース(英語)

写真